

熊野署治安情勢

平成30年度夏号
熊野警察署
0597-88-0110



熊野市で交通死亡事故が発生！

5月27日、飛鳥町佐渡地内国道309号で、大型自動二輪車が転倒し、奈良市在住の52歳男性が亡くなりました。

車を運転される際は、交通ルールをきちんと守って運転してください。

交通事故の発生状況

人身事故の特徴について、昼夜別では、すべて昼間の発生、また、事故の類型別では、車両相互が10件と約8割を占めており、高齢者の負傷者は5名（前年同期比+3名）と約4割を占めています。

	H30 1～6月中	H29 1～6月中	前年対比
総発件数	188	190	-2
物件事故件数	175	177	-2
人身事故件数	13	13	0
死者数	1	0	1
負傷者数	13	14	-1

犯罪の発生状況

刑法犯の認知件数は34件であり、前年と同数となっています。

総発件数の7割を占める窃盗犯のうち、空き巣などの侵入窃盗が15件と前年と比べ14件増加しておりますが、本年1月に空き巣犯人を検挙しています。万引きなどの非侵入窃盗や自転車盗などの乗り物盗は前年より減少しています。

詐欺等の知能犯罪は1件と前年と比べ3件の減少となっております。6月まではオレオレ詐欺などの特殊詐欺の発生はありませんでしたが、7月中に約30万円がだまし取られる架空請求詐欺が発生しています。

	H30 1～6月中	H29 1～6月中	前年対比
総発件数	34	34	±0
凶悪犯	0	1	-1
窃盗犯	24	23	1
粗暴犯	2	1	1
知能犯	1	4	-3
その他	7	5	2

非行少年などの総数は16人で、前年同期より24人減少しています。

不良行為少年の行為別状況では、昨年と比べて「深夜はいかい」で補導される少年が大幅に減少しています。

	H30 1～6月中	H29 1～6月中	前年対比
総員数	16	40	-24
刑法犯少年	3	0	3
特別法犯少年	0	1	-1
不良行為少年	13	39	-26

熊野市内で特殊詐欺が発生！

三重県内では、本年1月から6月までの間、60件（前年同期比-32件）被害額約2億5,520万円（昨年と比べ約1億1,000万円増加）の特殊詐欺が発生しています。

被害件数が最も多いのは、ハガキやメールなどによる架空請求詐欺（42件）であり、被害額が最も多いのはオレオレ詐欺（約1億6,700万円）となっています。

熊野署管内では本年6月まで特殊詐欺の発生はありませんでしたが、7月中に「未納料金がある」「少額訴訟を起こす」「本日中にコンビニで電子マネーを買って裏面の番号を教えて欲しい」等の文句でだます架空請求詐欺が発生し、約30万円が被害に遭っています。

また、被害の発生には至らなかったものの、架空請求のハガキが熊野市内の一般家庭に多数届いています。

水難事故に気をつけて！！

県内における水難事故の発生件数は、前年同期と比較すると11件増加しています。

水難事故に気をつけるポイントは次のとおりです。

○ 海や河川へ出掛ける方

- ・ 飲酒後や体調が悪いときは泳がない
- ・ 天候には十分注意する
- ・ マリンスポーツや磯釣りなどする場合、必ずライフジャケット（救命胴衣）を着用する

○ 小さなお子さんを持つ保護者の方

- ・ 子どもから決して目を離さない
- ・ 危険な場所に近づかないように言い聞かせる
- ・ 「危ない」と感じたときにはすぐに注意する



	発生件数	水難者数				
		死者	行方不明	負傷者	救助	合計
30年上半期	17	7	0	1	10	18
29年上半期	6	3	0	1	3	7
増減数	11	4	-	±0	7	11